

合併15周年

「今までも、これからも ずっと磐田」



平成17年4月1日、磐田市、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村の1市3町1村が合併し、新しい磐田市が誕生しました。そして本年度、合併15周年を迎えることができました。

この15年間には、リーマンショックによる経済不況、東日本大震災や大型台風などの想定外の自然災害による安心安全への不安、そして新型コロナウイルスのパンデミックなど、予期せぬ危機的状況に陥ることもありました。また、合併当初には財政的、政策的課題などが山積していました。しかし、こういった危機的状況や課題に

一つずつ丁寧に対応し、乗り越えてきました。

急患センターやがん診療センターの新設などによる医療体制の充実、JR東海道線の新駅や新東名スマートインターチェンジの新設などによる交通基盤の充実、新磐田市クリーンセンターや新文化会館の整備などによる暮らしの充実、こども医療費の無料化やこども若者相談センター設置などによる子育て環境の充実、小中一貫教育の実施やジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦などによる教育体制の充実など、将来にわたって持続可能な磐田市の基盤を整えることもできました。今までも、これからもずっと、ふるさとである磐田市を市民の皆さんと一緒に歩んでいきたいと思えます。

－ 今までも －

- 新「磐田市」誕生 (H17)
 - 新「市章」決定 (H17)
 - 多文化交流センター「こんにちは」開設 (H18)
 - ジュビロード夏祭初開催 (H18)
 - 遠州豊田PAスマートインターチェンジ開設 (H19)
 - いわたホッとライン運用開始 (H19)
 - 総合健康福祉会館（iプラザ）開館 (H20)
 - 市の花・木・昆虫制定 (H21)
 - 周産期母子医療センター開業 (H22)
 - デマンド型乗合タクシー導入 (H22)
 - 広島平和記念式典中学生派遣事業開始 (H22)
 - みんなで軽トラ市初開催 (H23)
 - 新磐田市クリーンセンター開業 (H23)
 - ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業開始 (H23)
 - 市イメージキャラクター「しっぺい」誕生 (H24)
 - 中東遠消防指令センター開所 (H24)
 - 獅子ヶ鼻トレッキングコース完成 (H24)
 - 急患センター開業 (H25)
 - 中学生海外派遣事業開始 (H25)
 - 海岸堤防整備を表明 (H26)
 - 福田こども園開園 (H27)
 - こども憲章制定 (H27)
 - 交流センター開設 (H27)
 - 磐田市歌「ふるさと いわた」制定 (H27)
 - 岡山県玉野市と友好都市提携調印 (H27)
 - J R 磐田駅前北口広場完成 (H28)
 - 下野部工業団地完成 (H28)
 - 渚の交流館開館 (H28)
 - 卓球水谷選手・伊藤選手の五輪メダル獲得凱旋パレード (H28)
 - こども医療費無料化 (H29)
 - 磐田卓球場「ラリーナ」・アーチェリー場完成 (H30)
 - ひと・ほんの庭 にこっと開館 (H30)
 - 証明書コンビニ交付サービス開始 (H31)
 - 合葬墓完成 (H31)
 - J R 東海道線「御厨駅」開業 (R2)
- ※主な出来事を掲載

－ これからも －

- ながふじ学府一体校開校 (R3)
 - 今之浦公園完成 (R3)
 - 新磐田スマートインターチェンジ完成 (R3)
 - 防災備蓄ステーション完成 (R3)
 - (仮称) 磐田市文化会館完成 (R4)
 - 海岸堤防完成 (R11)
- ※主な予定を掲載



磐田市と同じ平成17年に生まれて

磐田と私の 「今まで」と「これから」

磐田市は暮らしやすいまちに

私は自立して親孝行できるように



磐田東高等学校 1年
山村 奏人 さん

たという思いがあります。磐田市とともに年齢を重ね成長できるとはうれしいですね。

5歳の時にも広報いわたで将来の夢は「ピタゴラススイッチのようなおもちゃを作る人になりたい」って紹介してもらいました。当時は、いろいろな物を作ることが好きでしたが、今では数学の問題が解けてスッキリす

るのが好きなんです。少しは成長したってことかな。

今までの私

小・中学生で水泳と卓球を頑張ってきました。水泳の磐周大会で上位に入ったり、卓球の団体戦で勝利して仲間と喜びあつたりしたのは本当に良い思い出です。

友達とは、よく獅子ヶ鼻公園へ遊びに行きました。公園から見える広々とした景色が大好きなんです。

これからの磐田市へ

磐田市は、自然がたくさんあるところが好きです。発展してもらいたいです。これから自然を大切にして、暮らしやすい街になってもらいたいと思います。

これからの私へ

親に頼ってばかりなので、早く自立できる自分になりたいです。そして、今まで頼ってきた分、少しでも両親に孝行できる自分になりたいと思います。

磐田市は幸せナンバーワンのまちに

私は世界と日本をつなぐ懸け橋に



城山中学校 3年
田中 彩 さん

られて感謝しています。

私は、10歳の時に「私の夢みる10年後のいわた作文コンクール」で、「『ありがとう』であふれる街」という題で磐田市への思いや自分の将来について書き、賞をいただきました。磐田市と同じ平成17年に生まれたからこそ書いた作文ですが、自分を見つめ直し、将来を考え

る良い機会となり、この時に書いた内容が今の私の道標になっている気がします。

今までの私

勉強と運動の両立を頑張ってきました。勉強では、いつか世界へ日本や磐田の良さを伝えられるように、特に英語を頑張っています。運動では、中学では陸上部に所属していましたが、けがや新型コロナウイルスの影響で全力を出し切れていないので、高校でも陸上を続けていき

たいと思っています。

これからの磐田市へ

5年前の作文コンクールの時と同じで、日本一ありがとうを言える市になり、笑顔とあいさつがあふれる幸せナンバーワンのまちになってもらいたいです。

これからの私へ

自分を信じて何事もあきらめない。そして、世界と日本をつなぐ懸け橋になりたいという夢の実現に向かって頑張り続ける自分になりたいと思います。

平成17年に生まれて

偶然なことですが、嬉しいです。新しい磐田市とともに成長してこ